

裁判員裁判の実施状況

～経験者の声もお知らせします～



裁判員制度

平成21年5月21日のスタートから8年が経過する『裁判員制度』について、平成28年12月末までの実施状況や裁判員経験者の声（アンケート結果）をお知らせします。

★その1 裁判員裁判に関するデータ（※全て制度開始～平成28年12月末までの数値）

●裁判員に選ばれた方は、54,964人！

内訳は以下のとおり（アンケートより。無回答分があるので100%にはなりません。）

- ・性別 男性55.0%，女性43.4%
- ・年齢 20代13.9%，30代21.0%，40代23.3%，50代19.7%，60代18.4%，70歳以上1.9%
- ・職業 お勤め55.9%，パート・アルバイト15.2%，専業主婦・主夫9.6%，
自営・自由業7.0%，学生，無職，その他計10.1%

●裁判員裁判における判決人員は、9,548人

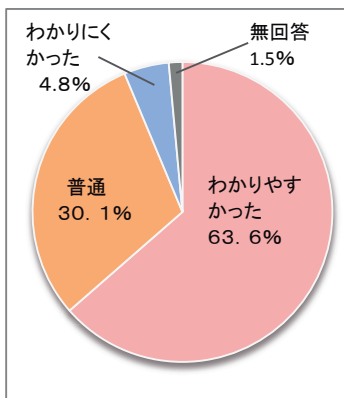
●裁判員として、裁判手続に参加する日数の平均は、約5.6日

判決の内容を決めるための評議の時間の平均は、約10.4時間



★その2 審理ってわかりやすい？専門知識がなくても理解できる？

→経験者の63.6%の方が、法廷での審理は「わかりやすかった」と回答しています。



配られたメモなどどれも分かりやすく、聞きとりやすく話していただいたので落ち着いて話しを聞くことができました。

（40代，女性，専業主婦）

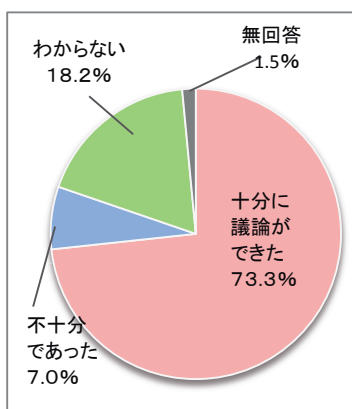


資料やパワーポイントを使った説明でわかり易いと感じた。

（50代，男性，お勤め）

★その3 充実した評議ができる？

→経験者の73.3%の方が、評議で「十分に議論ができた」と回答しています。



全く知識の無い状態でもしっかり理解できるよう、分かりやすく説明していただいたり、細かく休憩が入ったりしたので、とてもやりやすかったと思います。

（30代，女性，パート・アルバイト）

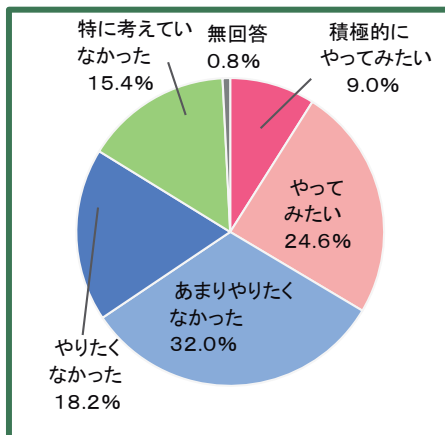
議論すべき点が都度明確であったため、自分の意見を充分にのべる事が出来ました。私も含め全ての方の意見を尊重していただいた印象があります。

（30代，男性，お勤め）

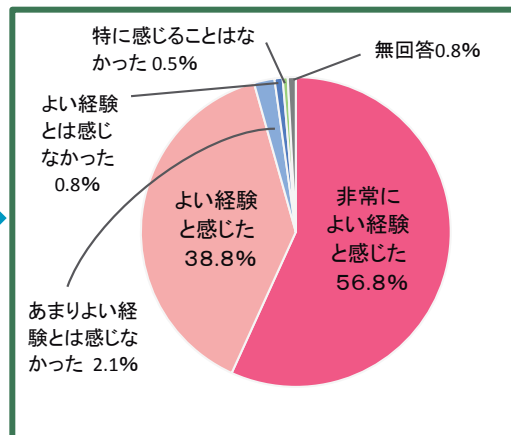
★その4 裁判員に選ばれる前後での気持ちの変化は？

→「(あまり) やりたくなかった」から、「(非常に) よい経験と感じた」へと変化しており、充実感をもって裁判員としての職務に従事していただけたことがうかがえます。

(裁判員に選ばれる前の気持ち)



(裁判員として裁判に参加した感想)



★その5 実際に裁判員を経験された方をご紹介します！

自分には裁判とは縁が無いと思っていましたが、実際に行ってみると意外と近くで事件が起こっていることがわかったり、裁判官・検察官・弁護人がそれぞれの立場から被告人のことを考えていくことの大切さや大変さが分かりました。

(20代, 女性, 専業主婦)

社内で裁判員になったのが私が初めてという事を聞いたので、今後選ばれる人の助けになれると思いました。

(20代, 男性, お勤め)

日常生活で共通のテーマで議論することが少ないので新鮮だった。違う年代や職業の人と話すことができてよかった。

(60代, 女性, 無職)

今までにない角度から色々考える事ができ、仕事にも活かせる良い経験だと思いました。

(30代, 女性, お勤め)

裁判の仕組みが少し分かったし、これからはこれまでとちがった視点でテレビや新聞等の事件を見ることができると思う。

(40代, 男性, お勤め)

裁判の流れが理解でき、裁判が身近なものに感じられた。自分の子供にも裁判というものが伝えることができ教育にも役立った。

(40代, 男性, お勤め)

★より詳しくお知りになりたい方は、裁判員制度ウェブサイト (<http://www.saibanin.courts.go.jp/>) へ裁判員制度に関する統計や動画、パンフレット、キッズページなど、いろいろな情報を発信しています。

注) 本記事に掲載されている各グラフ内の比率は、小数点第二位を四捨五入しているため、各比率の合計が100%にならない場合があります。